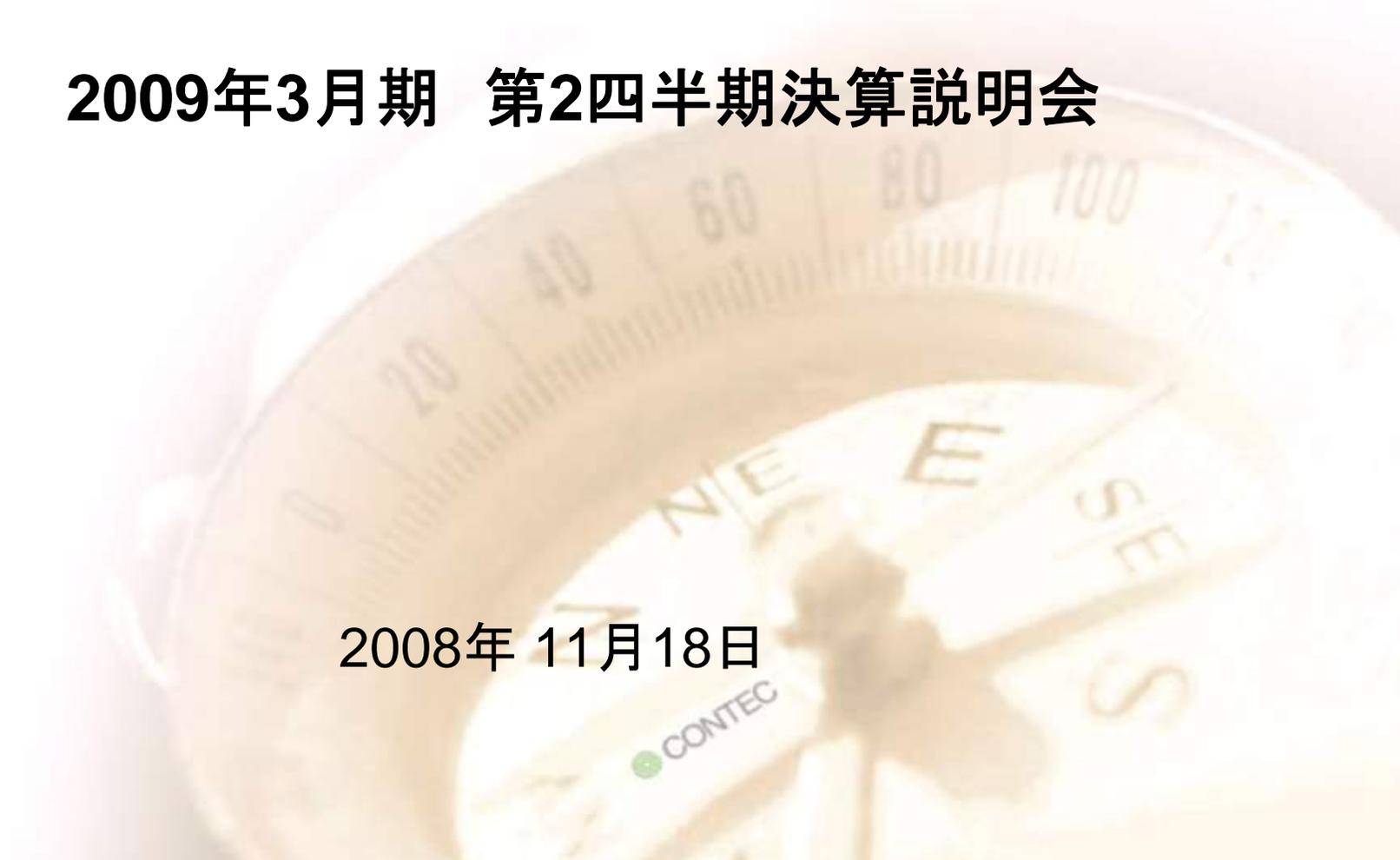


株式会社コンテック

2009年3月期 第2四半期決算説明会

2008年 11月18日



1. コンテックグループの状況
2. 2009年3月期 第2四半期決算 経営成績の概要
3. 中期経営計画の進捗 2008年3月期～2010年3月期

.....

添付資料 会社紹介

1. コンテックグループの状況～1



2009年3月期 第2四半期決算 連結売上高 8,630百万円
(2008年3月期 第2四半期決算 連結売上高 10,633百万円)

社名 株式会社コンテック
設立 1975年4月1日
本社所在地 大阪市西淀川区姫里3-9-31
資本金 11億1,960万円(2008年9月30日現在)
(発行株式数 330万株)
主要株主 (株)ダイフク 65.72%(2008年9月30日現在)
従業員数 671名(連結) 269名(単体) (2008年9月30日現在)



■国内事業所

- 東部支店 東京都江東区亀戸2-25-14 立花アネックスビル2F
- 西部支店 大阪市西淀川区姫里3-9-31
- 国内営業所 北関東／立川／神奈川／静岡／名古屋／北陸／京滋／広島／九州

■国内子会社

株式会社コンテック・イーエムエス (生産)

■海外子会社

CONTEC MICROELECTRONICS U.S.A. INC. (販売)

上海康泰克電子技術有限公司 (販売・開発・生産)／北京康泰克電子技術有限公司 (販売・開発)

台湾康泰克股份有限公司 (開発・生産)

- 2007年3月に東証第二部に上場、同年5月に2007年度を初年度とするグループ中期経営計画を策定し実行中。
- 2008年度 基本方針
 - ① 売上を増大させるため、コンテックグループが持つ販売から技術・生産・サービスまでの全てにおいて「構造改革」を実行する。
 - ② ビジネスのグローバル化を強力に推進する。
 - ③ 内部統制システムを確立する。
- 米国の金融不安に端を発した世界経済への下押し懸念を受け、設備投資の減速が顕著となってきた。
今後とも予想される電子機器市況の厳しさを考慮し、2009年3月期通期の計画数値を修正した。

第2四半期決算 連結損益計算書 増減 (単位:百万円)

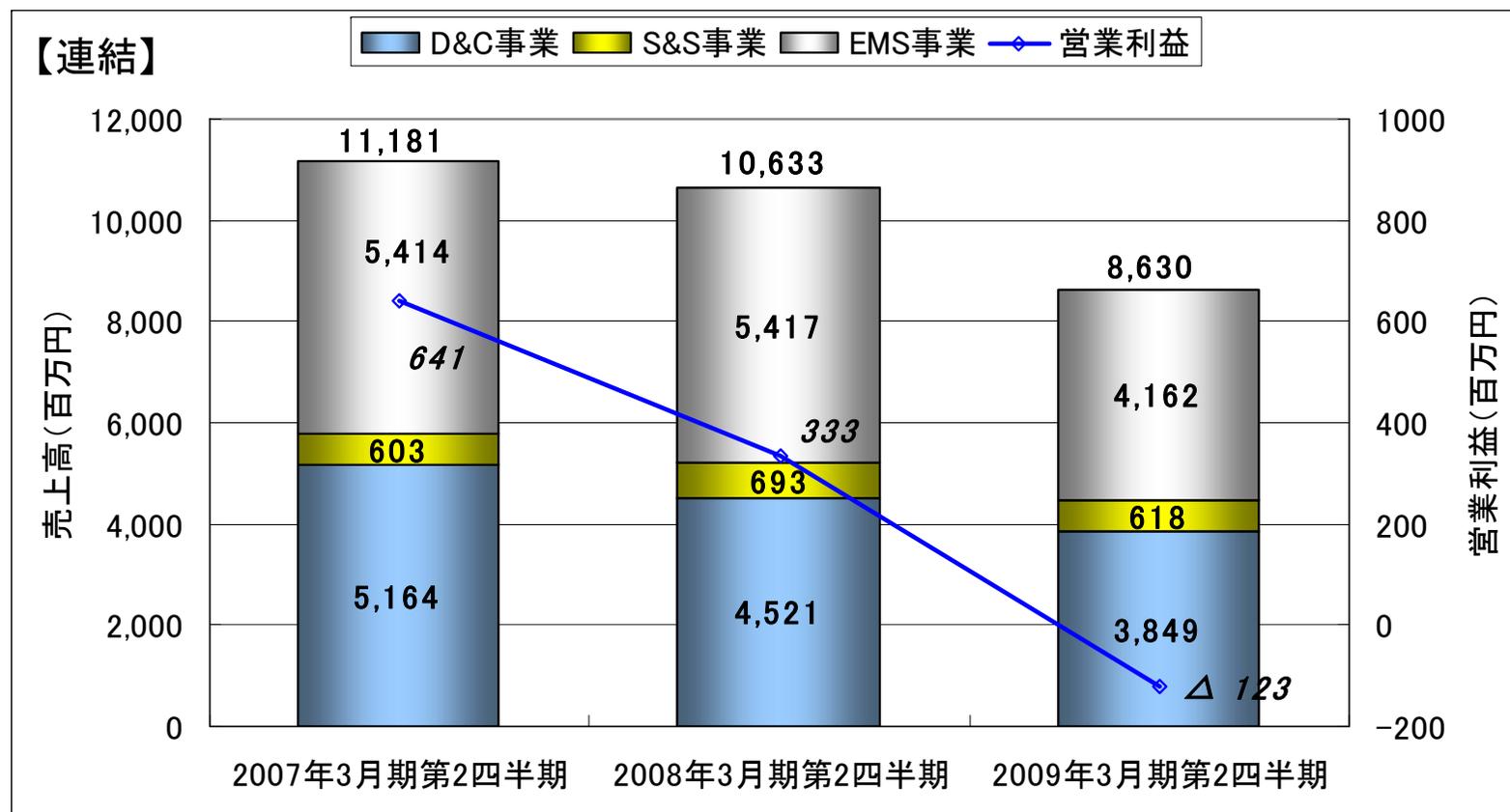
	2008年3月期 第2四半期 (2007年4月～9月)	2009年3月期 第2四半期 (2008年4月～9月)	増減
売上高	10,633	8,630	△ 2,003
売上総利益	2,300	1,782	△ 518
営業利益	333	△ 125	△ 458
経常利益	335	△ 140	△ 475
四半期純利益	277	△ 135	△ 412

2. 2009年3月期第2四半期決算 経営成績の概要～2



第2四半期 当社グループの事業部門別売上高 (単位:百万円)

事業部門	2008年3月期第2四半期		2009年3月期第2四半期		前年同期比(%)
	金額	構成比率	金額	構成比率	
デバイス&コンポーネント(D&C)事業部門	4,521	42.5%	3,849	44.6%	△14.9
ソリューション&サービス(S&S)事業部門	693	6.5%	618	7.2%	△10.7
EMS事業部門	5,417	51.0%	4,162	48.2%	△23.2
合計	10,633	100.0%	8,630	100.0%	△18.8



- ・ **デバイス&コンポーネント(D&C)事業部門**
当社の主力事業として、中期計画では主たる経営資源を投入し、事業の拡大を図る。
 - 流通ルート販売の減少や半導体・検査装置関連業界での設備投資減少の影響により、売上高3,849百万円(前年同期比14.9%減)。

- ・ **ソリューション&サービス(S&S)事業部門**
主に自動車業界向けのシステム事業として堅実に伸ばしていく。
 - 原材料価格の高騰や原油高による自動車販売台数の減少を受け、主に自動車業界向けシステムの売上が減少となり、売上高618百万円(前年同期比10.7%減)。

- ・ **EMS事業部門**
ダイフクからの受託生産として、安定的に事業を継続していく。
 - 株式会社ダイフクの物流システム部門からの受注が前期より減少したため、売上高4,162百万円(前年同期比23.2%減)。

2. 2009年3月期第2四半期決算 経営成績の概要～4



貸借対照表(連結)前期末比

(単位:百万円)

科 目	2008年 3月末	2008年 9月末	増 減	科 目	2008年 3月末	2008年 9月末	増 減
資産の部	15,768	14,733	△ 1,035	負債の部	8,975	8,182	△ 793
流動資産	11,518	10,566	△ 952	流動負債	7,285	5,754	△ 1,531
現金及び預金	2,853	2,019	△ 834	仕入債務	3,882	3,614	△ 268
売上債権	4,379	3,837	△ 542	短期借入金	2,215	1,534	△ 681
棚卸資産	3,981	4,295	314	その他の流動負債	1,187	605	△ 582
その他の流動資産	356	463	107	固定負債	1,689	2,427	738
貸倒引当金	△ 52	△ 49	3	長期借入金	1,200	2,000	* 800
固定資産	4,250	4,166	△ 84	その他固定負債	489	427	△ 62
有形固定資産	2,909	2,812	△ 97	純資産の部	6,793	6,550	△ 243
無形固定資産	614	515	△ 99	株主資本	6,718	6,481	△ 237
投資その他の資産	726	837	111	評価・換算差額等	74	68	△ 6
合 計	15,768	14,733	△ 1,035	合 計	15,768	14,733	△ 1,035

(コメント)

* 長期借入金の借替により、短期借入金が800百万円減少し、長期借入金が800百万円増加した。

3. 中期経営計画 (1) 収益の状況

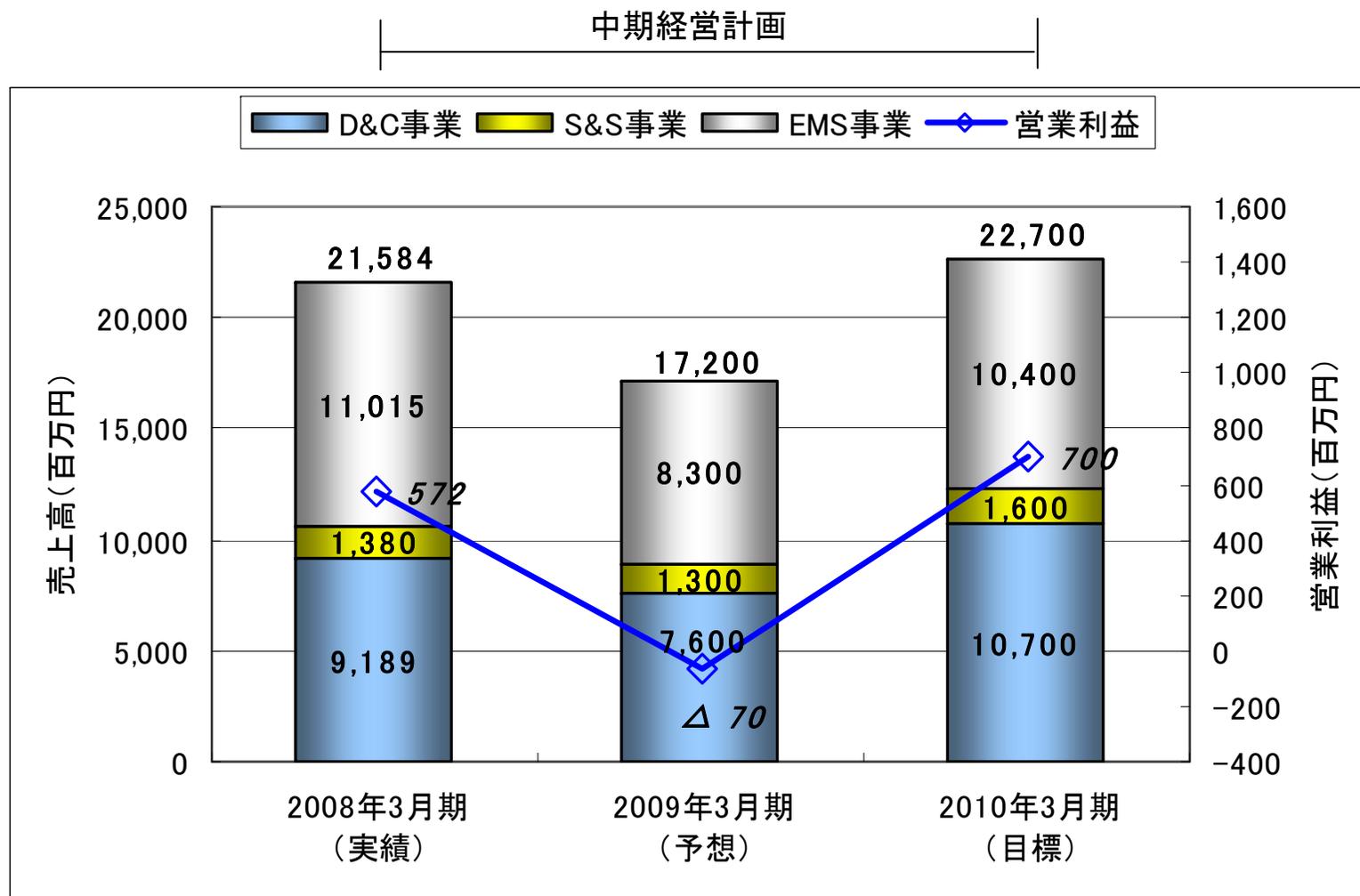


(単位: 百万円)

	中期経営計画			
	2008年3月期 (実績)	2009年3月期		2010年3月期 (目標)
		(計画)	(予想)	
売上高	21,584	21,300	17,200	22,700
(D&C事業)	(9,189)	(9,610)	(7,600)	(10,700)
(S&S事業)	(1,380)	(1,460)	(1,300)	(1,600)
(EMS事業)	(11,015)	(10,230)	(8,300)	(10,400)
営業利益	572	450	△ 70	700
経常利益	577	400	△ 90	650
当期純利益	439	230	△ 90	380
営業利益率(%)	2.7%	2.1%	△ 0.4%	3.1%
ROE(%)	6.5%	3.4%	△ 1.4%	5.1%
1株当たり当期純利益(円)	133円	70円	△ 27円	115円
1株当たり純資産額(円)	2,058円	2,084円	1,987円	2,155円

- ①上記の予想及び目標は、現時点で入手可能な情報に基づいて判断したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって、予想及び目標数値と異なる可能性があります。
- ②1株当りの算出は、当期純利益・純資産額とも、現在の発行済み株式数(3.3百万株)を分母としています。

(1) 収益の状況



- ① 拡張ボード系機器に関して、産業用パソコンの応用分野の拡大に対応できる商品群の品揃え強化と戦略的市場開拓
- ② 産業用パソコン系機器及びネットワーク系機器に関して、顧客要求への対応力を強化し、標準品の組合せによるCTO・ODM/OEM案件の比率を拡大
- ③ 海外市場での更なる拡販のため、品質・価格・総合サービスなど海外市場の特性にあった商品開発の加速
- ④ 自社開発力の更なる強化と技術提携などによる研究開発の多面的展開
- ⑤ グローバルな生産及び調達体制の更なる充実と生産コストの極小化
- ⑥ 国内外での人材の確保と育成
- ⑦ 内部統制体制の更なる強化とCSRの推進
- ⑧ 環境問題への対応の加速化

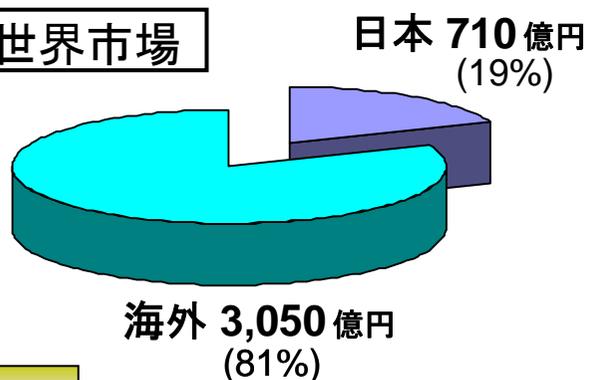
CTO: Custom to Order ODM: Original Design Manufacturing OEM: Original Equipment Manufacturing

(3) 市場規模と基本戦略

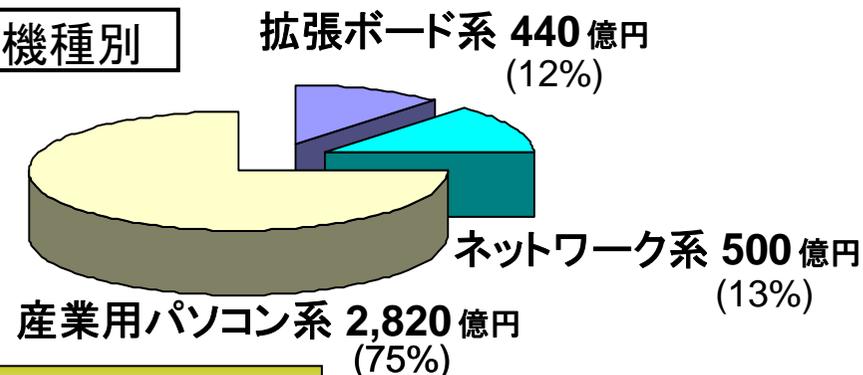
市場規模

電子機器市場(D&C事業) 3,760億円

世界市場

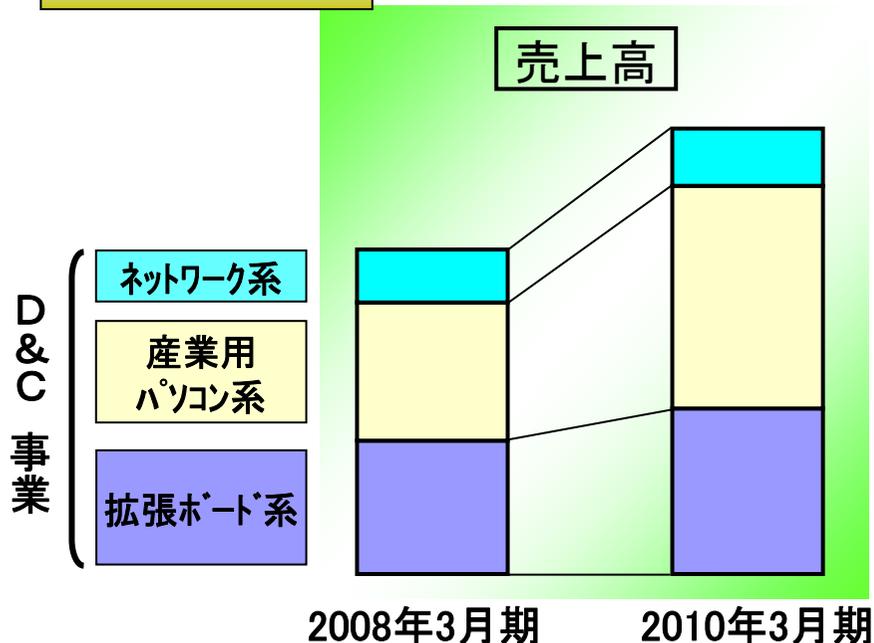


機種別



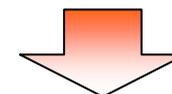
基本戦略

売上高



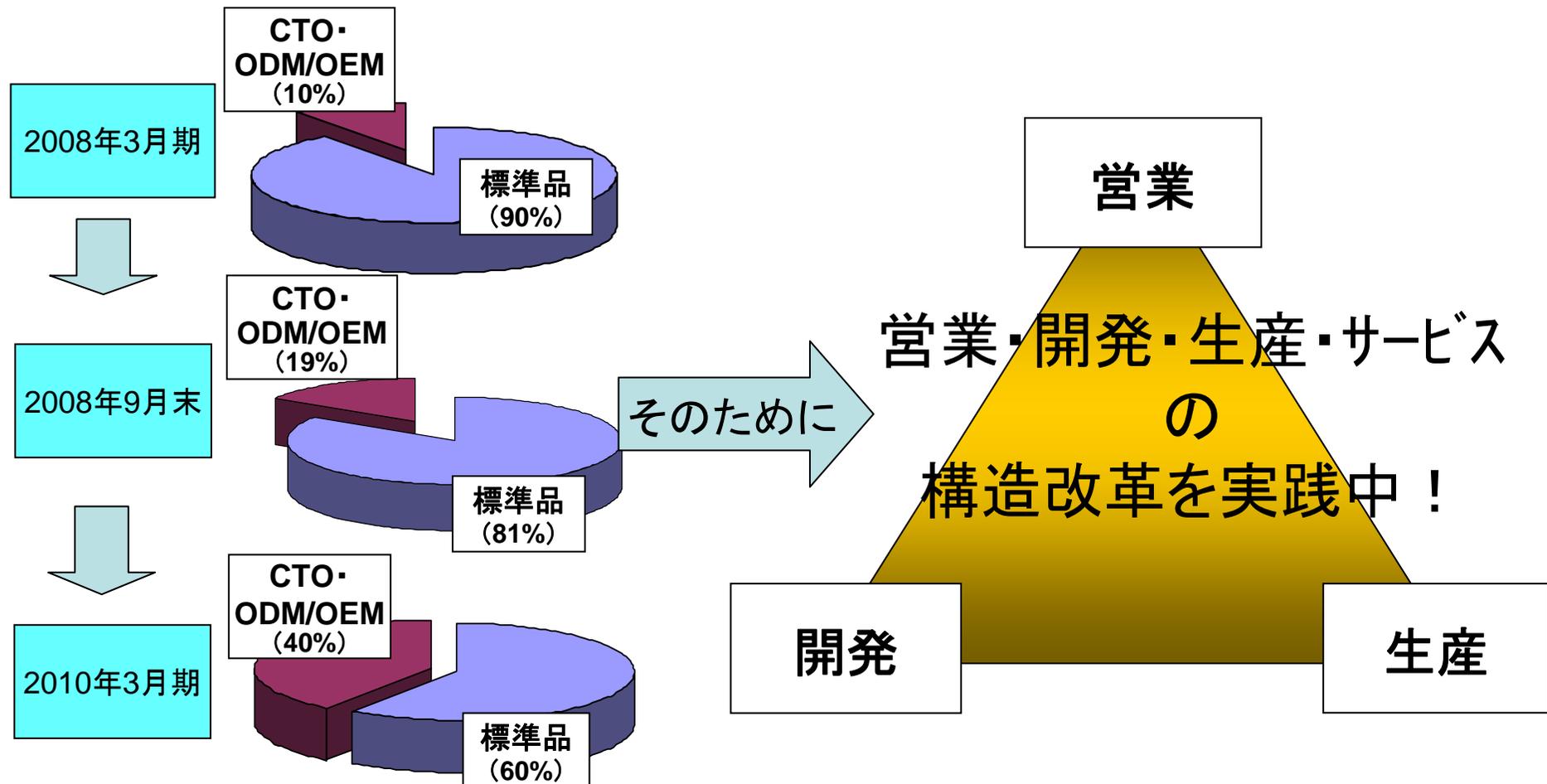
具体的施策

1. 産業用パソコン系に注力し、特長ある機種(ニーズ対応型標準品)を開発する。
2. ニーズ対応型標準品に総合力を活かし、CTO・ODM/OEMに取り組み、お客様の要望に対し柔軟な対応を実現する。

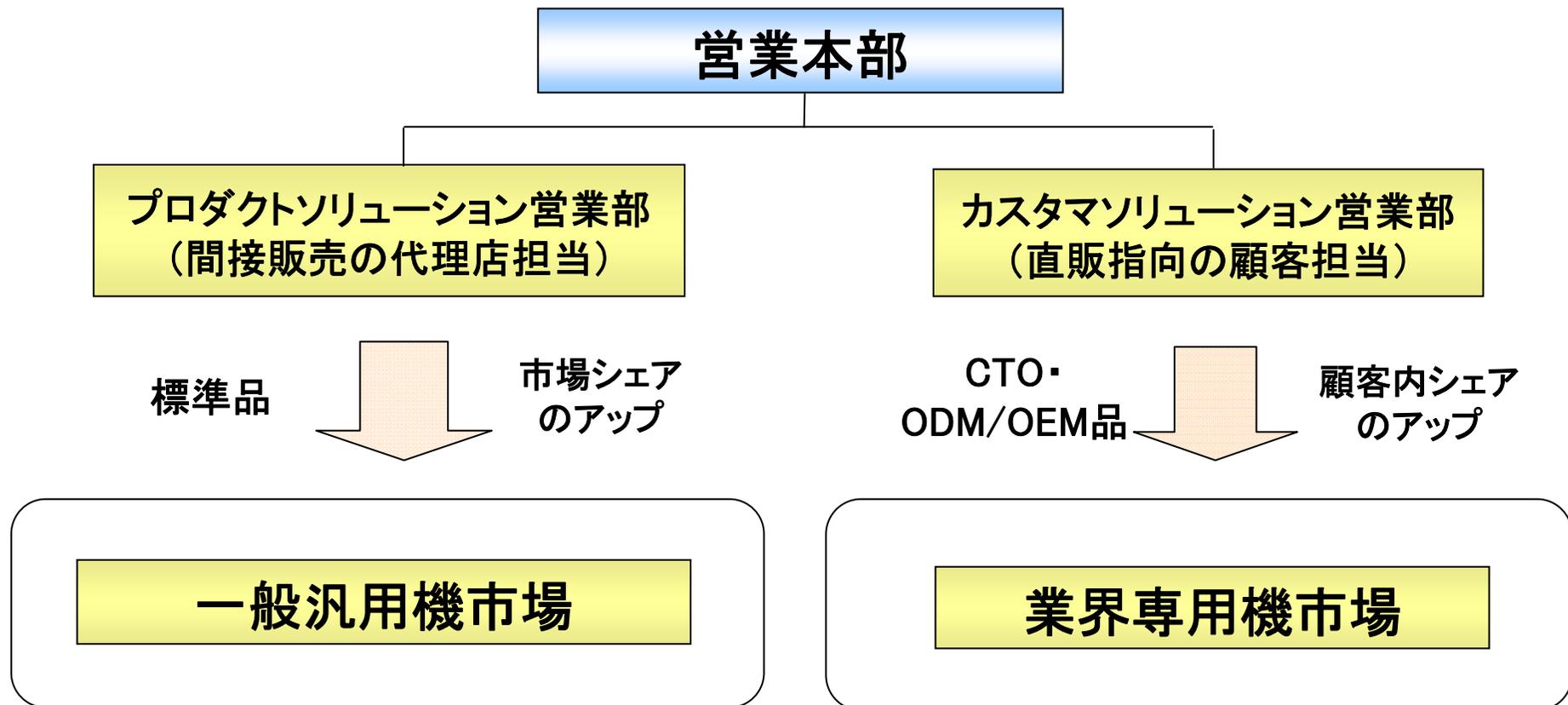


(4) 構造改革 (D&C事業)

一般汎用機市場向けの標準品主体のビジネスから、
専用機市場向けCTO・ODM/OEM品のビジネス比率を増大させる。



CTO・ODM/OEM案件を受注するため
10月に組織改革を行った。



提案型営業と課題解決支援型営業を 並行して実施する。

提案型営業

機種別の専門性に特化した組織営業で、
お客様に最適な商品を提案する。



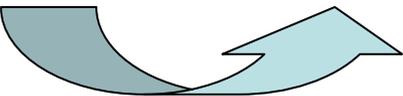
ターゲット顧客をピックアップし
戦略商品をキーにして案件を獲得する。

課題解決支援型営業

ロイヤルカスタマ(戦略キーマン)が抱える
課題を専門チームと一緒に解決していく。



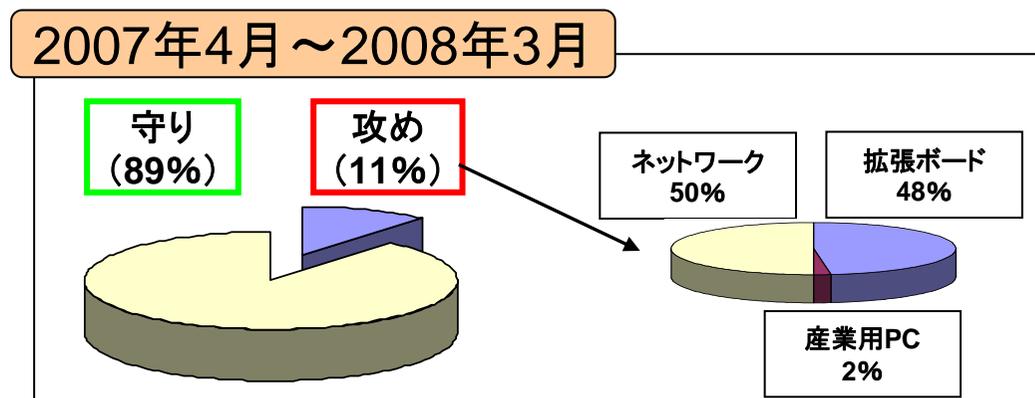
ターゲット業界を絞り
ロイヤルカスタマを深耕する。



ロイヤルカスタマ候補へ
段階的に向上させる

(6) 開発の構造改革 (D&C事業)

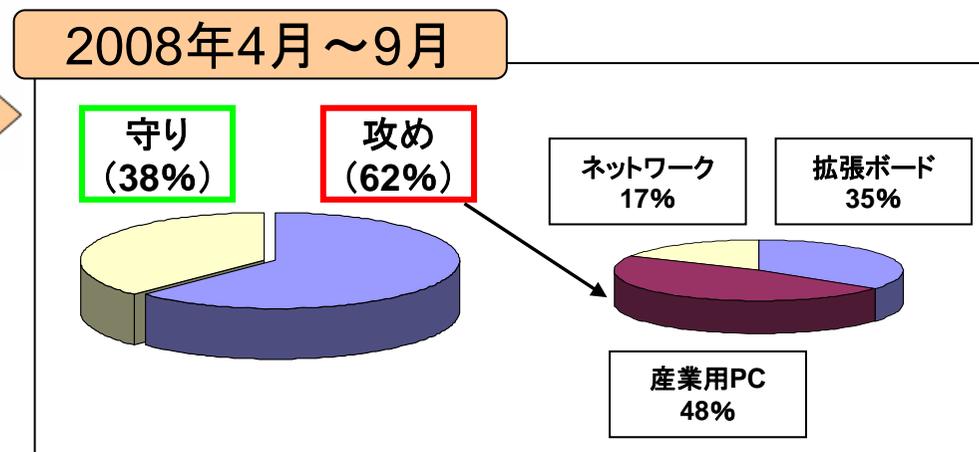
2008年4月以降に、CTO・ODM/OEMの核となる
ニーズ対応型標準品を投入、CTO・ODM/OEM案件が増加した。



開発費比率の構造改革

顧客に密着した攻めの製品開発が増加

- ・超薄型ボックスコンピュータ
- ・システム機器 (情報端末)
- ・eTEST製品 (検査装置)
- ・大型案件向けの画像転送機器など



eTEST: 検査システム市場向けに最適な機能を凝縮した計測システム

拡張ボード系ではeTEST開発、
産業用パソコン系では、ボードパソコンのコア技術開発
をベースに、CTO・ODM/OEM開発に注力した。

機種別 開発費比率

【2007年4月～2008年3月】

【2008年4月～9月】

拡張ボード 32%		eTEST 10%
産業用PC 24%		拡張ボード 20%
セットアップPC 8%		産業用PC 35%
ボードPC 15%		セットアップPC 10%
ネットワーク 21%		ボードPC 5%
		ネットワーク 20%

「eTEST」で検査・計測分野のCTOに注力すると共に中国開発拠点の活用による開発効率のUPに取り組んだ。

CTO・ODM/OEMによる売上の増大を図るため、そのベースとなる産業用PCの開発に注力した。

無線／有線LAN技術を核とした組み込み機器開発に特化した。

拡張ボード製品の品揃えの充実と 部品販売から検査・計測装置への転換

2007年4月～2008年9月
58種発売(8種開発中)



品揃えの状況

USB製品、PCI Express製品等で業界
トップクラスの品揃えを実現した。

「eTEST」で検査・計測分野のCTOに注力

eTEST: 検査システム市場向けに最適な
機能を凝縮した計測システム



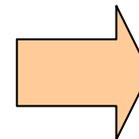
CTO・ODM/OEMに即時対応可能なベースとなる ニーズ対応型標準品を投入

クラス最薄・FANレス・HDDレス
ボックスコンピュータ BX950

ニーズ対応型標準品



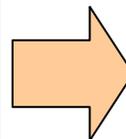
2008年6月発売



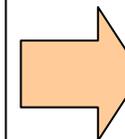
CTO専用の
新製品を開発中

真のCTO・ODM/OEM対応製品を開発中

ニーズ対応型標準品 (BX950)
を武器に、
業界(顧客)を深耕



顧客の課題を
抽出



顧客の課題を、早く、
安価に実現する開発を
実施中

拡張ボード系のCTO・ODM/OEMにも活用

開発力増大のため、協業先ARBOR社(台湾)との関係を強化

・相互の開発部隊を融合 ・コンテック開発トップを技術顧問としてARBOR社へ派遣

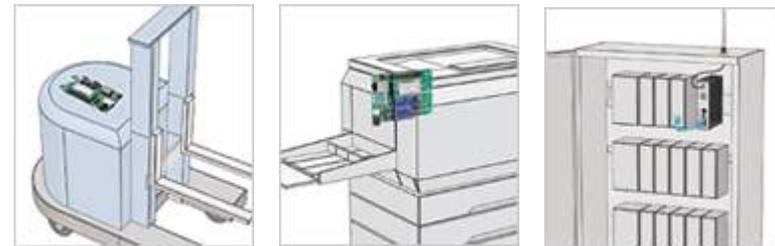
無線/有線LAN技術を核とした「機器組込み」開発に特化

最新無線LAN規格
IEEE802.11n/a/b/g対応
アクセスポイント



2008年8月発売

機器組込み用途への特化



無線/有線LAN技術をベースにCTO・ODM/OEM

他社ができない、きめ細かな対応を実現

1. セキュリティ強化、メンテナンス性向上などのソフトウェアによる対応
2. 設置環境の事前調査(サイトサーベイ)による安定した動作環境の実現

現在、大型案件向けの新製品を開発中。



米国 Wonderware社との OEM 契約締結(2008年6月)

InTouch Compact
Wonderware社製
生産ラインの監視／制御用
HMI ソフトウェア

+

Windows CE
パネル
コンピュータ



2008年8月発売

HMI:Human Machine Interface :
機械と人間の間で情報やりとりを行う境界

FAパソコン

FAパソコン市場に新規参入

低価格

と

耐久性、品質
ノウハウ
(コンテックの長年の経験)

の両立を実現



オンサイト保守サービスを提供
(サービスの事業化)

FAパソコン:
事務用パソコンのデザインや機能を継承しつつ、
産業／工業用途での利用を可能にするパソコン

(7) 生産の構造改革

「顧客のニーズ」に対応して、見込み生産から 受注組立生産の生産体制に変革

■ 拡張ボード系

- 顧客ニーズが多い(売れ筋)商品の見込み生産を継続して、即納体制を強化する。
- その他の標準品およびCTO・ODM/OEM商品は受注組立生産2を基本とする。

■ 産業用パソコン系

- ボードパソコンは長納期部品を確保し、受注組立生産1の生産を基本とする。
- セットアップ/産業用パソコンはモジュール/ユニットを在庫し、受注組立生産3の生産を基本とする。

■ ネットワーク系

- 長納期部品を確保し、受注組立生産1の生産を基本とする。

顧客-コンテック-コンテックEMS
との情報連携強化で実現

従来の
生産形態

受注生産	
無し	
無し	
無し	
見込み 生産	

改革後の生産形態

	生産開始状態	製品カテゴリ			生産プロセス							
		拡張 ボード系	産業用 パソコン 系	ネット ワーク系	設計	部品 調達	基板 実装	実装 検査	組立	組立 検査	梱包 入庫	出荷
受注時 生産	部品在庫 無し				[Green Arrow]							
受注組立 生産1	長納期部品 在庫有り		◎ ボード	◎	[Green Arrow]							
受注組立 生産2	全部品在庫 有り	◎		○	[Green Arrow]							
受注組立 生産3	全モジュール /ユニット在庫		◎ セットアップ 産業用		[Green Arrow]							
見込み 生産	製品在庫	◎ 売れ筋			[Green Arrow]							

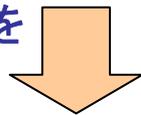
(7)-1グローバルでの最適地生産・調達

台湾コンテックの産業用パソコン系の「基板実装内製化」で生産力(Q.C.D.)を強化
「部品標準化」と「共同調達」で調達力を強化して、コストダウンを推進

実行中項目

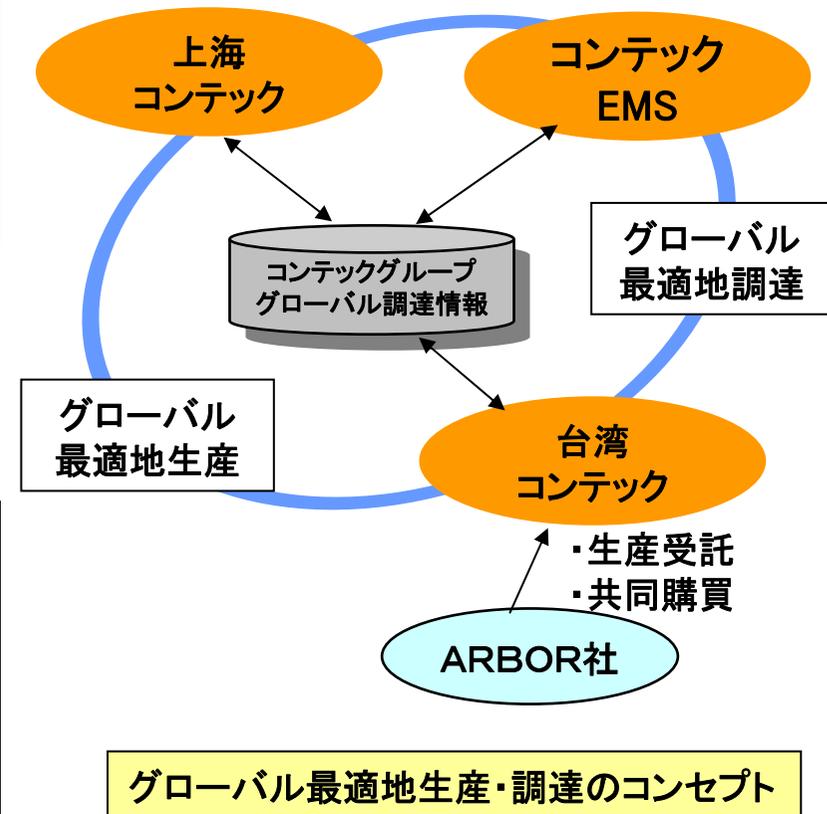
- ・ コンテックグループ内でのグローバル調達情報の一元化を完了(2008年4月)
最適地調達によるコストダウンを実施・
共通部品化を推進するために、
グローバル部品標準化をスタート

台湾コンテックを
重点強化



2009年度計画

- ・ 産業用パソコン系の基板実装内製化で
生産力を強化(2009年5月立上げ予定)
- ・ ARBOR社の産業用パソコン系製品の
生産受託・部品の共通化を実施
- ・ 部材購入量の増大で、コストダウンを加速



コンテック製品を組込んだ、KIOSK端末や制御ユニットなどの受託開発・製造・設置・メンテナンスを行う。

■ KIOSK端末

- ・インフォメーション端末
- ・決済端末
- ・セキュリティシステム
- ・アミューズメント機器

■ 制御機器分野

- ・製造装置用
- ・コントロールユニット
- ・汎用制御用I/Oユニット
- ・生産管理端末
- ・制御ユニット

■ 計測監視分野

- ・環境計測
- ・工業用計測
- ・分析器用データロガー
- ・電力監視

企画提案



システム設計



設計



生産



検査



出荷

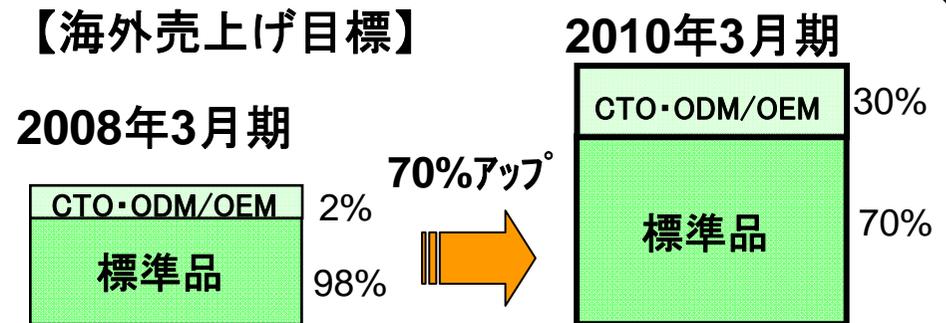


情報KIOSK(キヨスク)端末
FKT-H04シリーズ

2008年7月発売

(9) 海外ビジネスの拡大

全体市場規模の80%を占める
海外市場に
ビジネスを拡大していく。



1. コンテックグループの技術力、ソリューション力でCTO・ODM/OEMビジネスを拡大する。
2. 協業先のARBOR社との販売協力を強化する。
 - ・商品を相互販売する。
 - ・台湾における有能なグローバル人材を活用する。
3. 米国Jervis B. Webb社(ダイフクグループ)の顧客に対する積極的な展開をする。(空港・自動車関連顧客)

FAパソコンの製品化を契機にサービス体制を構築し、サービスの事業化を目指す。

1. オンサイト保守サービス

- ・FAパソコンの製品化を契機にオンサイト保守サービス体制を構築し事業化を進める。
- ・FAパソコン以外の産業用パソコン市場でもサービス体制を構築していく。(業界初)
- ・コンテック体制下でのアウトソーシングにより手軽な価格帯を実現する。

2. サービス顧客情報からのリニューアル提案

- ・CTO・ODM/OEMビジネスにより得られる、最終顧客の情報を活用する。
- ・顧客情報＋トレンド情報から、リニューアル提案を行う。

オンサイト保守サービス: 弊社サービス拠点より技術者がお客様先に訪問し修理を行うサービス

この資料には、当社の現在の計画や業績の見通しなどが含まれております。それらの計画や見通しなどは、現在当社が入手可能な情報を元に計画、予測したものです。実際の業績などは、様々な条件の変化により異なった結果となることがあり、この資料は、それら計画や見通しなどの実現を保証したものではありません。

添付資料 会社紹介 目 次

I	会社概要	P. 2
II	コンテックグループの紹介	P. 4
	1.事業と製品の紹介	P. 5
	2.販売体制	P.19
	3.開発・生産体制	P.20
	4.品質・環境・情報への取組み	P.21

I. <会社概要>コンテックとは

★FA分野に、マイコンに代わるパソコン市場を創造

- 1975年、親会社・(株)ダイフクから制御システム部門の一部が企業内ベンチャーとして独立
- FA・LA分野でのマイコン応用から、パソコン活用を提唱し市場を創造
- 1982年、世界に先駆けて「計測制御用インターフェイスボード」を開発

★拡張ボードから産業用パソコンへ、更に無線LANへ

- パソコン機能をボードサイズに凝縮したボードパソコンやFA仕様の産業用パソコンを開発
- 無線LANの産業用途にいち早く着目、産業向けに適した無線LAN機器を独自開発・生産

★独自技術による開発、強固な営業基盤

- 親会社など外部に依存しない独自の技術力による商品開発
- 親会社とは違った事業分野での強固な営業基盤

★ファブレスからファブリックへの転換

- 2004年、(株)ダイフクの電子制御生産部門を当社の生産事業に統合、生産子会社(株)コンテック・イーエムエスを設立
- 本格的な生産機能を持ち、生産量の拡大・設備の拡張によるコストダウンを実現

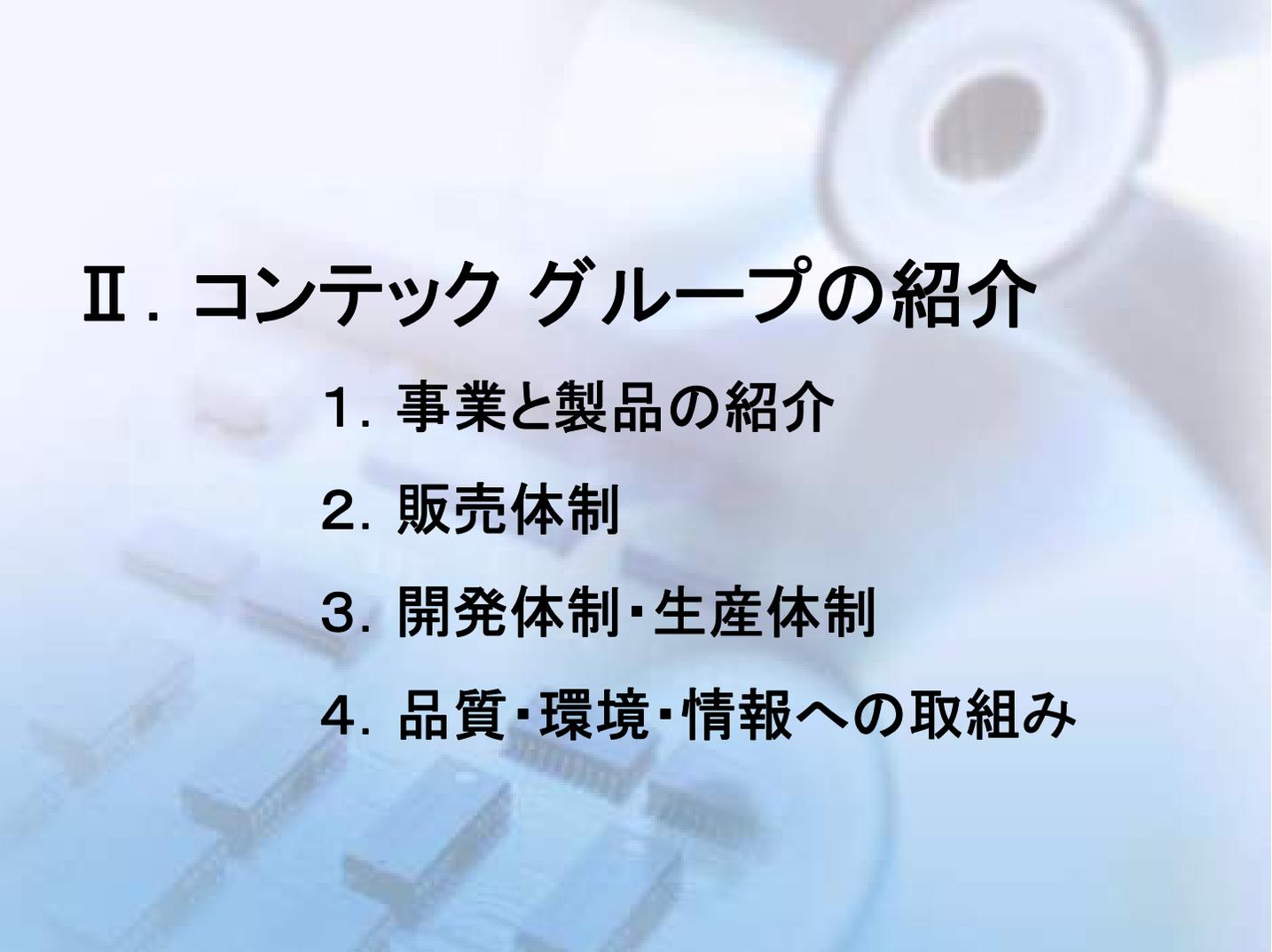
★開発と開拓とコストダウンによる成長

- ネットワーク社会・ユビキタス社会・ボーダレス社会への進展に伴う事業分野の拡大とビジネスチャンスの飛躍的増大
- 生・販・技のグローバル展開の加速化による事業基盤の更なる強化

※FA:ファクトリー・オートメーション、LA:ラボラトリー・オートメーション

I. <会社概要> 沿革

- | | |
|----------|--|
| 1975年 4月 | 株式会社コンテック設立、資本金500万円 |
| 1979年 4月 | 東京事務所(現 東部支店)を開設 |
| 1981年 7月 | 中国との技術交流スタート |
| 1982年 9月 | NEC製パソコン用の インターフェイスボード を開発、販売開始 |
| 1986年 6月 | 米国サンタ・クララに「 CONTEC MICROELECTRONICS U.S.A. INC. 」を設立 |
| 1987年10月 | 中国北京市に「 北京康泰克電子技術有限公司 」を設立 |
| 1988年 5月 | NEC 製パソコンPC-98バス互換 ボードコンピュータ を開発、販売開始 |
| 1990年 9月 | 中国上海市に「 上海康泰克電子技術有限公司 」を設立 |
| 1991年 6月 | 資本金を2億円に増資 |
| 1992年 4月 | 名古屋市に中部事業所(現 名古屋営業所)を設置 |
| 1993年 4月 | 工業用パソコン「IPCシリーズ」 を開発、販売開始 |
| 1995年 4月 | ISO9001認証取得 |
| 1995年 9月 | 中国上海・松江工業区に「 上海康泰克数字設備有限公司 」を設立(2006年9月、上海康泰克電子技術有限公司と合併) 中国での生産開始 |
| 1996年 6月 | 資本金を4億5,000万円に増資 |
| 1999年 3月 | 無線LAN「FX-DS20」 を開発、販売開始 |
| 2002年 6月 | ISO14001認証取得 |
| 2004年10月 | 日本における生産子会社として「 株式会社コンテック・イーエムエス 」を設立 |
| 2006年 1月 | 台湾台北市に「 台湾康泰克股份有限公司 」を設立 |
| 2007年 3月 | 東京証券取引所市場第二部に上場、資本金11億1,960万円に増資 現在に至る |



Ⅱ. コンテック グループの紹介

1. 事業と製品の紹介
2. 販売体制
3. 開発体制・生産体制
4. 品質・環境・情報への取組み

Ⅱ. 1. 事業と製品の紹介

①デバイス&コンポーネント事業 (D&C事業)

あらゆる自動化分野において必要な各種電子機器商品を提供しています。

【拡張ボード系
機器】

【産業用パソコン系機器】
【産業用パソコン】 【ボードパソコン】 【セットアップパソコン】

【ネットワーク系
機器】

【システム
機器】

②ソリューション&サービス事業 (S&S事業)

デバイス&コンポーネント商品をベースに、ハード・ソフトを結合した最適システムを提供します。

【システム系】

【ソリューション系】

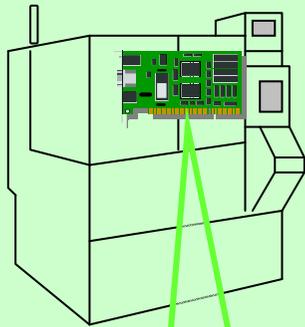
③EMS事業 (Electronic Manufacturing Service事業)

主に(株)ダイフク向けの制御盤・制御モジュール、ワイヤハーネスの受託生産を行っています。

①デバイス&コンポーネント事業 (D&C事業)

拡張ボード系

拡張ボード系組み込み事例
ex. 半導体製造装置



アナログ入出力ボード、
デジタル入出力ボード、
モーションコントロール、
画像処理ボード等を
装置に組込

産業用 パソコン系

産業用パソコン系組み込み事例
ex. 券売機、保険受付端末、
KIOSK端末 等



仕様により
選択



パネルコンピュータ



ボックスコンピュータ

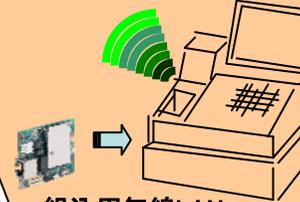


ボードパソコン

ネットワーク系 (無線LAN等)

無線LAN組み込み事例
ex. フォークリフト、
無人搬送車 等

無線LAN
端末に無線LAN基板
組み込みの例



組込用無線LAN
基板

無線LAN
フォークリフト
搭載事例
作業指示・作業報告



車載用
ボックスコンピュータ

システム 機器

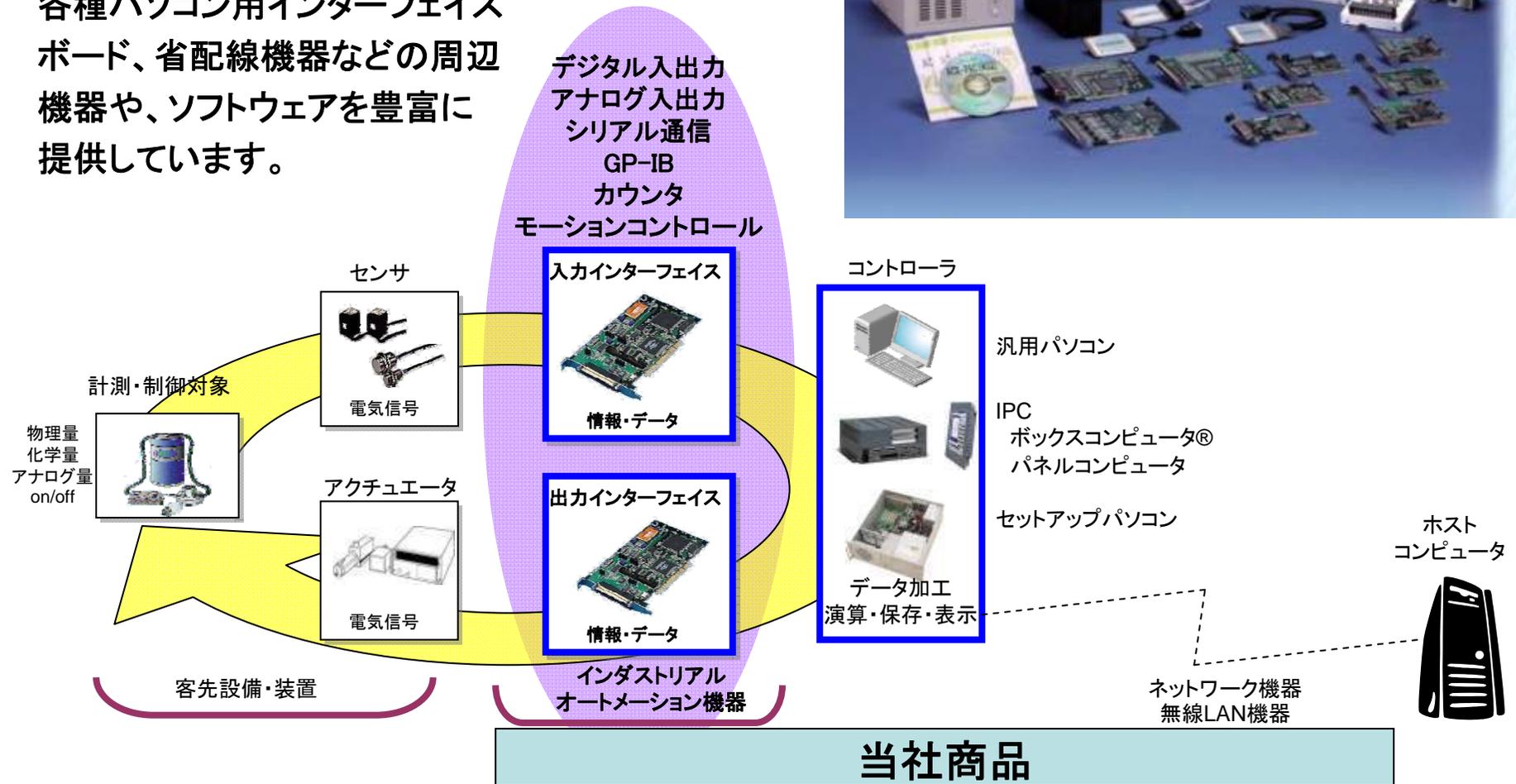
アプリケーション
システム ex. KIOSK



①デバイス&コンポーネント事業 (D&C事業)

事業の内容 a)拡張ボード系

手軽でローコストなあらゆる
オートメーション構築を可能にする
各種パソコン用インターフェイス
ボード、省配線機器などの周辺
機器や、ソフトウェアを豊富に
提供しています。



事業の内容 a)拡張ボード系

パソコン活用の計測・制御機器や周辺装置でトップシェア(国内30%)

《他社との差別化要因》

- 総合カタログ配布数 年間6万部強、有効登録顧客数 3万件強の実績を持ち、パソコンFAの業界に確固たるブランドを構築
- ユーザーをサポートする多数の商品
- 納入先設備の維持に必要な長期供給を実現
生産終了時も上位互換で提供
⇒パソコンの進化にはすぐに対応、旧タイプの需要にも長期的サポート

「パソコンの手軽さをFA/LAに！」を標榜して25年 パソコン計測・制御市場を創造

専門技術者がいなくても、
高価な計測器をそろえなくても、、、 パソコンで手軽に計測制御・FAを実現
..... 中小企業でも、町工場でも

品質／歩留まり／効率 の向上にパソコン計測・自動化は不可欠、まだまだ伸びる市場
USB接続型の発売、及び すぐに使えるソフトの添付で、更に手軽な導入が可能

①デバイス&コンポーネント事業 (D&C事業)

事業の内容 b)産業用パソコン系

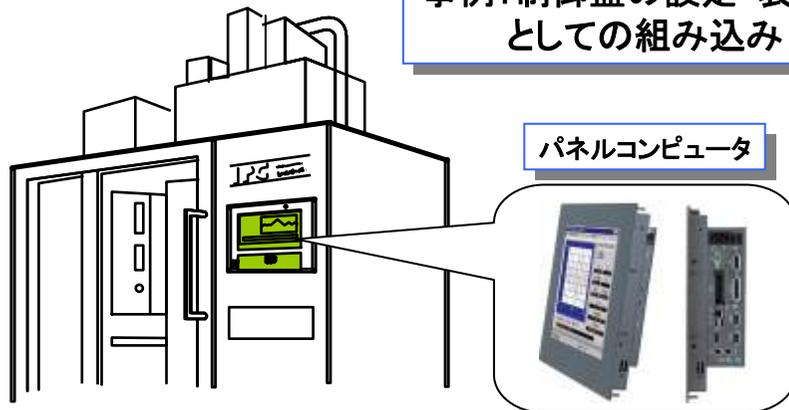


各種「産業用パソコン(パネルコンピュータ、ボックスコンピュータ)」と、その核になる「ボードパソコン(各種Single Board Computer)」及び周辺機器を、高品質と長期供給保証で提供しています。

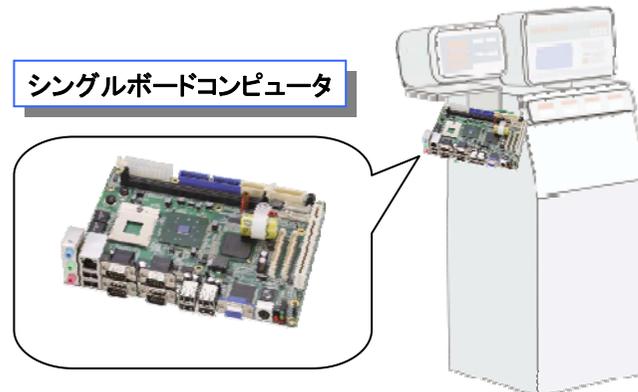
- ・パネルコンピュータ
- ・ボックスコンピュータ®
- ・フラットパネルディスプレイ
- ・シリコンディスクドライブ
(ボックスコンピュータ®は、当社の登録商標)

・SBC ・シャーシ ・バックプレーン

事例: 制御盤の設定・表示器としての組み込み



事例: 多機能端末装置への組み込み

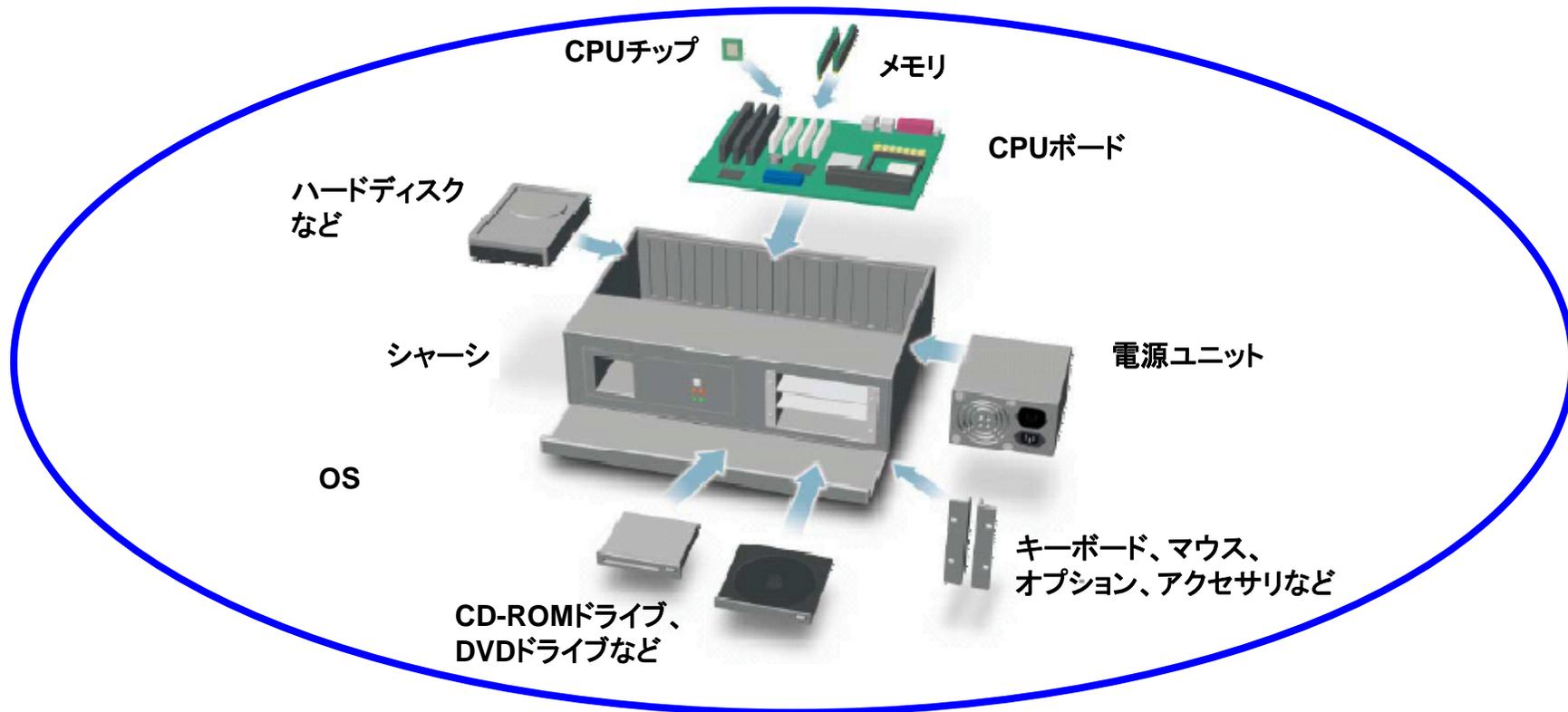


①デバイス&コンポーネント事業 (D&C事業)

事業の内容 b)産業用パソコン系

「セットアップパソコン」

極めて高い耐久性や信頼性が求められる産業用途向けの組み込みパソコンを、顧客の要望に合わせた仕様にBTO(Build To Order)で提供しています。



事業の内容 b)産業用パソコン系

パソコンFAを提唱する中、“組み込みに適したパソコンを”の要望に応え、20年前に組み込み用パソコンの概念を確立し、市場に提供

- パネル型、ボックス型、ボード型のパソコンを開発
- 省スペース型、高速型、クリーンルーム対応・特定用途対応など、多彩な需要に応える品揃えと開発体制を構築、市場要求に対応
- 世界のパソコン供給基地、台湾に開発・生産子会社を設立すると共に、台湾企業と協業体制を組み、顧客対応製品・先端製品をいち早く開発・生産

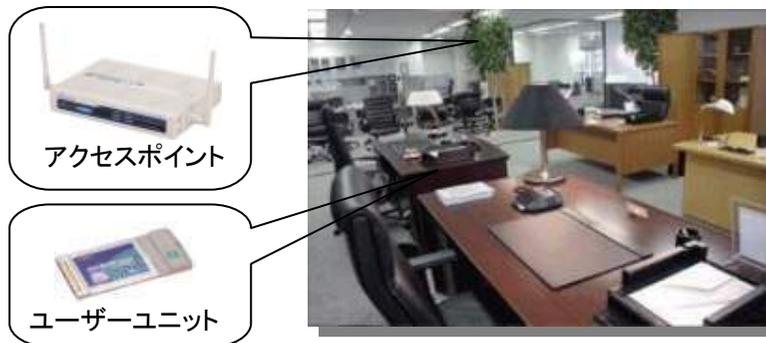
①デバイス&コンポーネント事業 (D&C事業)

事業の内容 c)ネットワーク系

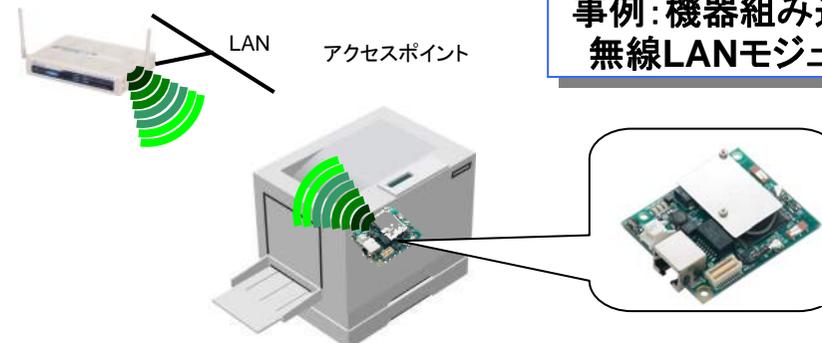
標準規格に加え、独自機能を付加して、セキュリティや管理機能を強化した、自社開発・自社生産の無線LAN機器を、オフィス用途／産業用途に提供。また、その技術をもとに、機器組み込み用無線LANモジュールも提供しています。



事例:オフィスの無線LAN

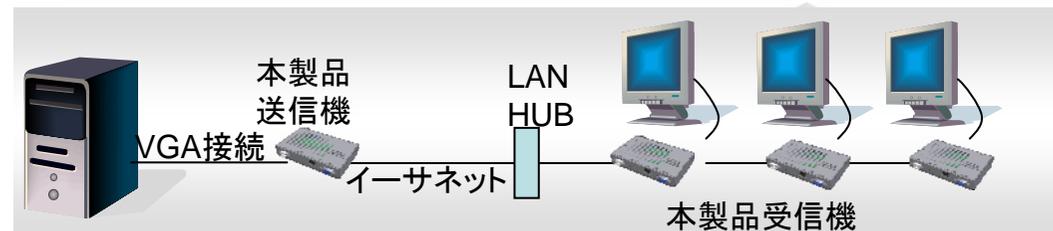


事例:機器組み込み用無線LANモジュール



オフィスの無線LAN化以外にも
病院における電子カルテシステム／看護支援システムの無線化
流通センター、大規模店舗における受入・検品、POSの無線化
LAN対応機器の無線LAN化 など

新商品 Flex Net Viewer イーサネット技術を活用した 画像送信装置



事業の内容 c)ネットワーク系

11年前から産業向けに特化した無線LAN製品を手がけ、豊富な実績

- ハード／ソフトの独自開発・独自生産により、きめ細かなサポート、サービスを実現
- 大手ネットワーク システムインテグレータ各社に取り扱いいただき、オフィス、病院、学校等に導入多数。機能、信頼性、管理ソフトなどで高い評価
- 豊富な経験を基に、有線LANを無線化する機器組み込み用モジュールを開発
量産機器への組み込み需要が活発化

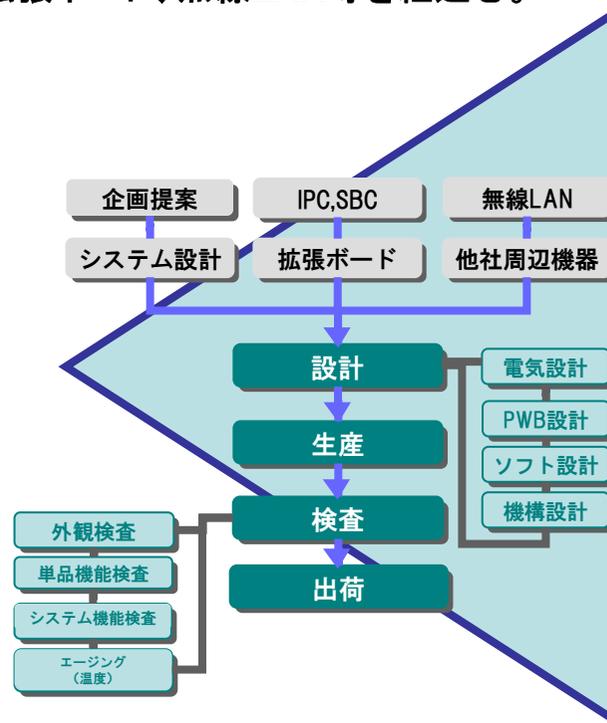
①デバイス&コンポーネント事業 (D&C事業)

事業の内容 d)システム機器

事業内容

コンテック製品を組込んだ、KIOSK端末や制御ユニットなどの受託開発・製造・設置・メンテナンスを行います。

産業用パソコン、シングルボードコンピュータ、オペレーティングシステム、ドライバーソフト、各種拡張ボード、無線LAN等を組込む。

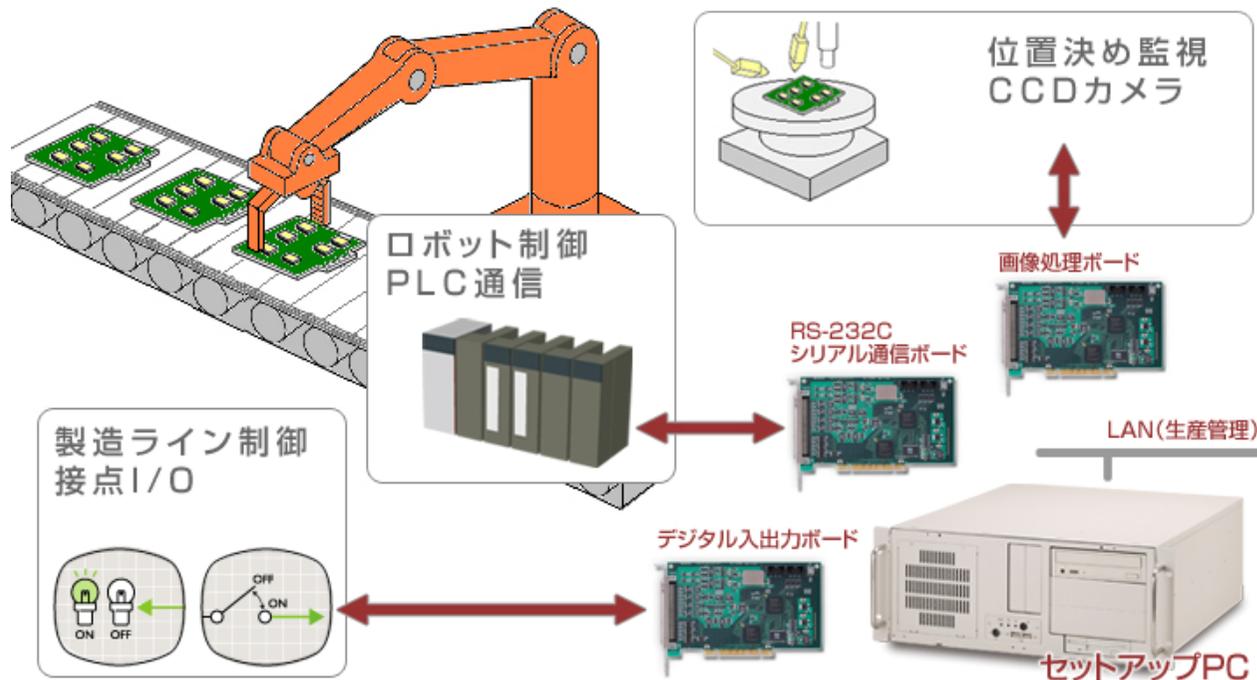


①デバイス&コンポーネント事業 (D&C事業)

事業の内容 : 客先設備でのシステム構築事例

客先設備の中で、当社製品(拡張ボード系機器、セットアップパソコン等)が、組み合わされて、システムを構成しています。

- セットアップパソコンに ・画像処理ボード ・デジタル入出力ボード ・通信ボードをセット
- モニタカメラから画像データをパソコンに取り込み
- パソコンで位置ズレ情報を解析
- ロボットコントローラ、ラインコントローラに位置制御情報を出力
- 位置決め完了にて、ロボットで自動組み立てを行っている……………事例



②ソリューション&サービス事業 (S&S事業)

事業の内容 a)システム系

当社設立時から手がけた国内全ての自動車メーカーに対する自動塗装機制御システムの実績をベースに、近年は各工場の生産管理システムインテグレーションも手がけています。

生産管理システム



- ・生産指示 / 実績収集トータルシステム
- ・トレーサビリティ支援システム
- ・Web情報配信システム

自動塗装機制御システム



- ・Monitoring Package (Paint Pro)
- ・ロボット、自動機制御

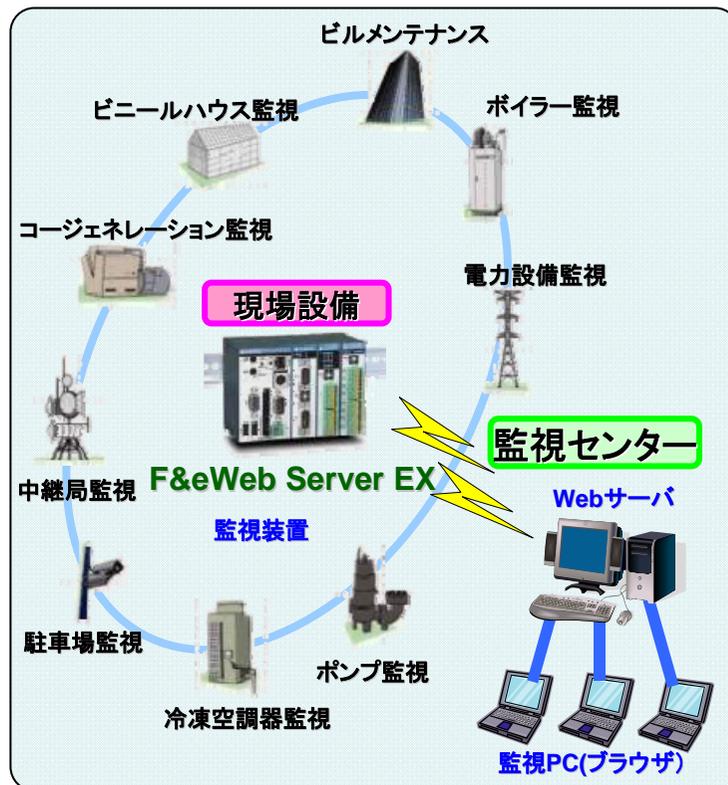
②ソリューション&サービス事業 (S&S事業)

事業の内容 b)ソリューション系

遠隔監視用サーバ/パッケージ製品を基に、
各種遠隔監視ソリューションを受託制作

ソーラーパネルメーカー/設置業者とのタ
イップにより、太陽光発電のデータ収集・
表示・管理システムを提供

遠隔監視システム



太陽光発電データ表示システム



③EMS事業 (Electronic Manufacturing Service事業)

事業の内容

生産子会社

株式会社コンテック・イーエムエス
において、当社製品の生産を行うと
同時に、主に株式会社ダイフク
(親会社)向けの制御用電子機器・
装置・ハーネスを受託製造

物流装置
周辺コントローラ



自動倉庫周辺
ユニットコントローラ



コンベヤ制御盤の制作風景



ローラーコンベヤ
電源接続ユニット

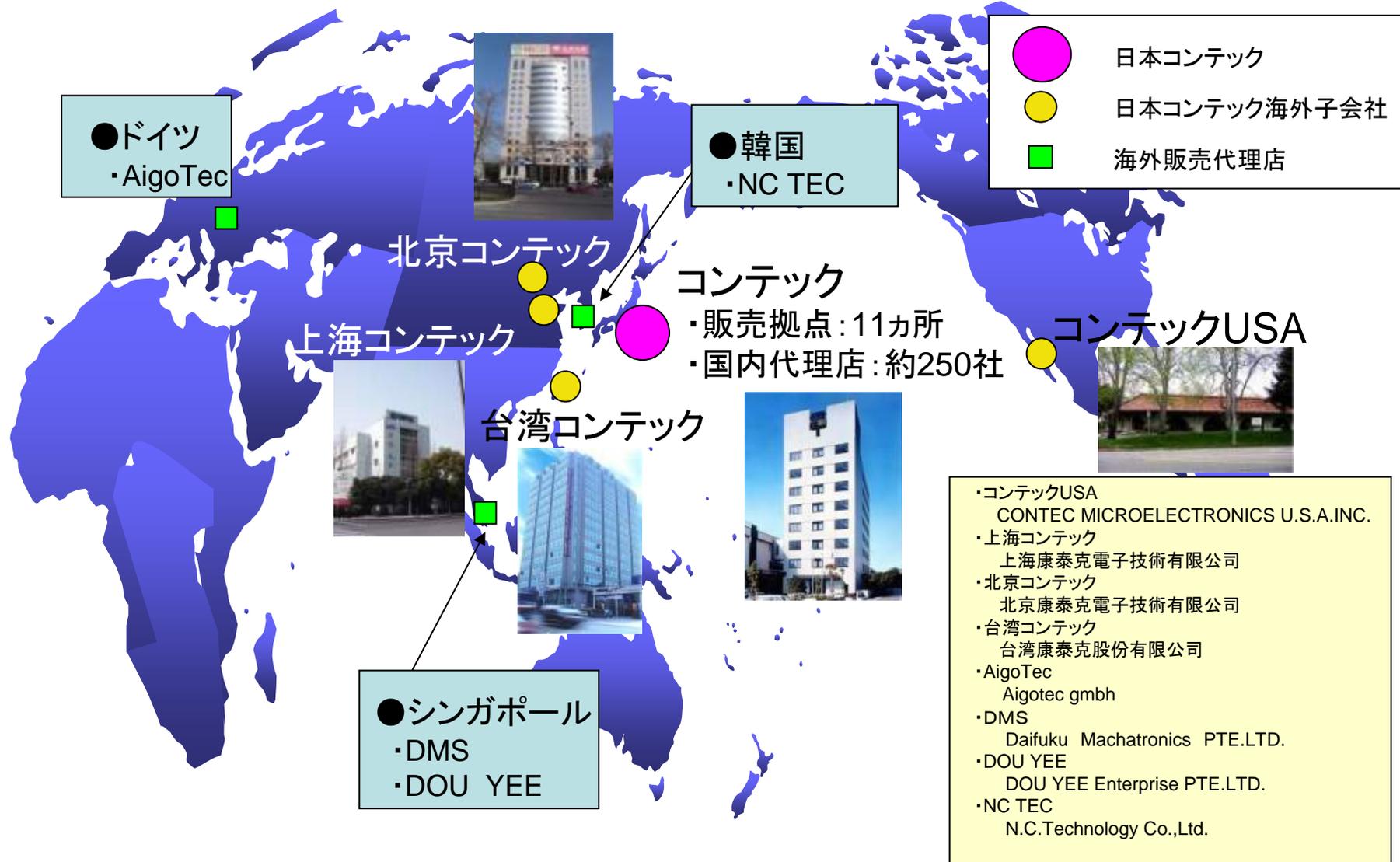


自動倉庫クレーンの
地上制御盤



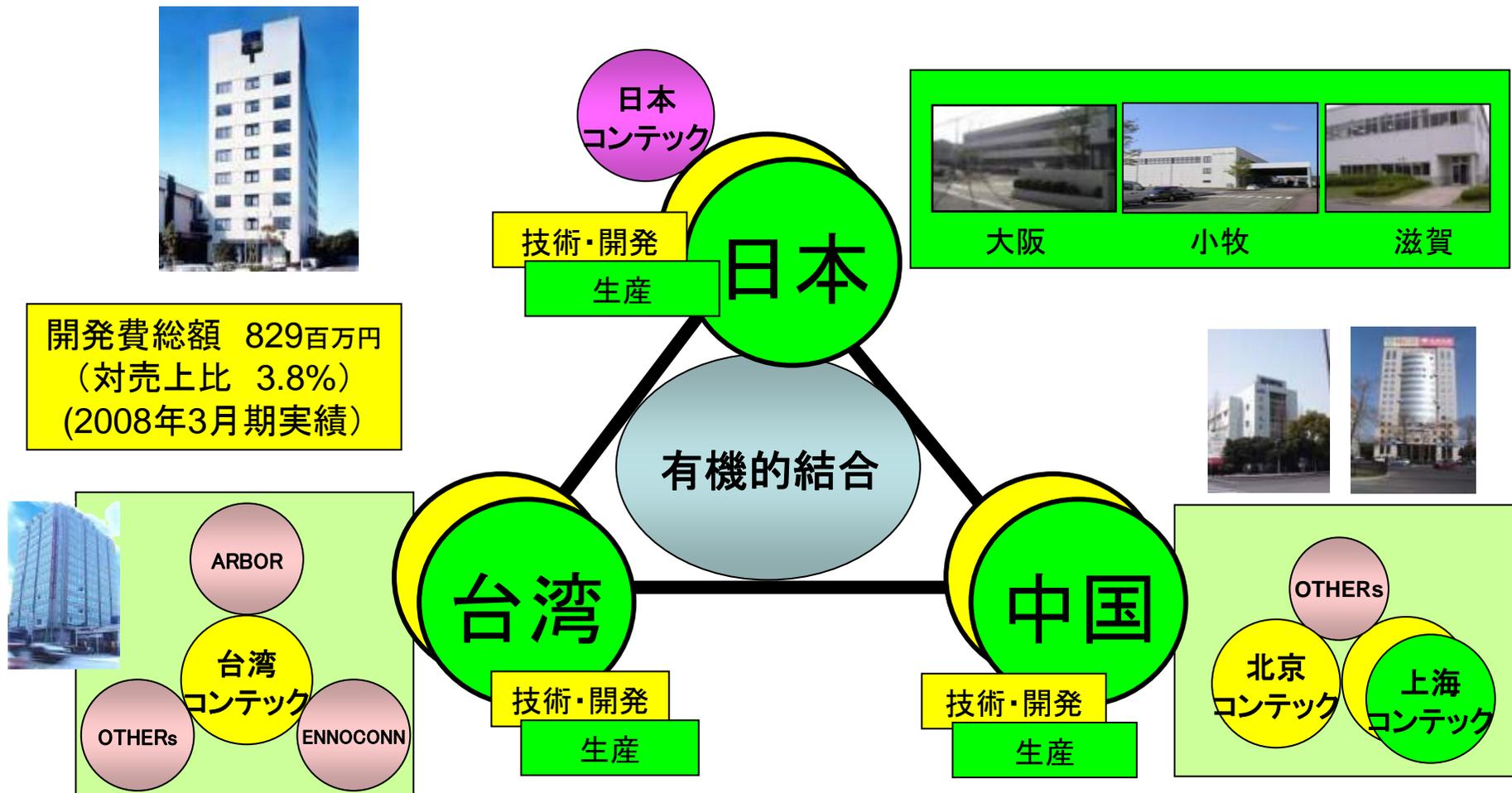
II. 2. 販売体制

海外販売体制を更に強化し、海外事業の拡大を図る。



II. 3. 開発・生産体制

日本・台湾・中国の3極開発体制の強化による
Global開発・生産の推進



II. 4. 品質・環境・情報への取り組み

品質

ISO9001



ISO 9001:2000, JIS Q 9001:2000
Approval Certificate No: YKA0937904
認証取得事業所:
コンテック、コンテック・イーエムエス

1995年4月
認証取得

環境

ISO14001



ISO 14001:2004, JIS Q 14001:2004
Approval Certificate No: YKA0773041
認証取得事業所:
コンテック本社、コンテック・イーエムエス

2002年6月
認証取得

情報

プライバシーマーク



2005年5月
認証取得

鉛フリー化／RoHS指令

